



の力で登下校ができます。

朝と夕方は学生のために、日中は高齢者や車の運転ができない人などのために病院やスーパーマーケットを回ったり、定期券を発行し安く乗ることができれば、利用者も増え利益も上がり、もっとコミュニティバスの利用価値が高まると思います。コミュニティバスの利用促進について、市の考えをお伺いします。

【答弁】 コミュニティバス「みらい号」は、市民を対象とした市内循環バスで、民間の路線バスや鉄道が走っていない「公共交通空白地」を運行しています。「みらい平駅」を起点として東西南北の4ルートを朝7時20分から夕方6時15分まで、1周約1時間から1時間20分をかけて、1ルート午前2便、午後2便の計4便をバス2台で運行しています。

平成19年10月の運行開始から今年3月末までの1年半では、4万8911人の方に利用していただきました。

議員ご提案のうち、「停留所を増やす」と「ルートの改善」については、さらなるコミュニティバスの利用促進を図るため

に、昨年度実施した市民アンケート調査の結果を参考に、市民の代表者の方が委員となる「つくばみらい市地域公共交通会議」において、ルートの見直しを検討しています。

運行するバスは2台という制限があり、あまり停留所を増やすと1周循環するのに時間がかかってしまうという課題があるので、そういう課題を一つ一つ整理しながら、たくさんの方の皆さんに利用していただけるように、見直しを検討していきたいと考えています。

「時間帯の改善」は、バスの



ひとり親世帯への支援について

やまもと しょうた
山本 祥太

3年 親の過労なども心配されます。中には、親の帰宅が深夜になり、一人で過ごさなければならぬ子どももいます。

【質問】 私の家庭は、ひとり親世帯なのですが、母の様子を見ていると、仕事と家事の両立はとても難しいようです。中学生になると受験費用だけでなく、部活動の費用、人によっては塾や教材の費用がかさみ、家計にかなりの負担がかかってしまっています。

また、ひとり親世帯では、孤食や偏った食生活などの問題や

台数が2台という制限がある中でも、最良の運行ダイヤとなるような設定をしていきたいと考えています。

「悪天候時の小中学生の通学にコミュニティバスが利用できるように」については、2台のバスで運行していることから、すべての通学時に利用することが難しい状況です。

最後に、「定期券」のご提案については、乗車人員や運賃収入の安定性の確保の観点から有効な案だと思っておりますので、ルートの見直しと併せて検討していきたいと思っています。

先日、母にどのような

支援があったらよいか聞いたところ、「親の就職支援や受験生を持つ家庭への奨学金制度などがあると、ひとり親世帯にはとても助かる」と言っていました。

そこで、ひとり親世帯への保護者の就職活動支援や奨学金制度などの経済的支援の充実、警察の方の巡回による防犯対策など、市の取り組みについてお尋ねします。

【答弁】 まず、保護者の就職活動支援についてですが、茨城県では、就職や転職に関する相談を受け、個別の状況に応じて、就労に向けた計画を策定し、ハローワークとの連携を取りながら母子の自立をサポートする事業を実施しています。

市では、母子自立支援員が就職活動をはじめ、さまざまな相談を行っています。

次に、奨学金については、県と市それぞれに、高校、大学などで修学するための費用を無利子で貸し付ける制度があります。この他、県の制度には、技能習得資金、生活資金、住宅資金、医療介護資金などがあり、また、母子福祉小口融資資金という、日常生活をするうえでお金が必要になったとき、10万円まで無利子で借りることができる制度もあります。

市は単独で、父子・母子福祉

国際交流について



たきむら ゆうみ
瀧村 優美

3年

みたところ、見つかりませんでした。

牛久市では、海外の数カ所に姉妹都市を設け、さまざまな面での交流や市内の学生向けに留学制度などを行っています。その結果、国際社会で活躍する方が増えているようです。

【質問】 私は将来、国際関係の仕事に就きたいと思っています。そこで、市では、どんな国際交流を行っているのか調べて



手当の支給を実施しています。この支援は、義務教育終了までの児童を扶養している方に、月額1500円を支給する制度です。これ以外にも、児童扶養手当、児童手当、保育料および児童クラブ負担金の免除制度、さらに、「マル福」といわれる医療福祉制度がありますので、ご活用いただきたいと思います。

最後に、防犯対策について、警察署では、各世帯の巡回連絡やパトロールなどを行っています。今後、警察署や地域の皆さんにご協力いただき、安心して生活できる社会をつくってきたいと思っています。

市でも、国際交流を図るため